

## 詩人・金子みすゞ

## 詩人・金子みすゞの命日に献花式

島村 涼華

詩人・金子みすゞの命日となる3月10日(日)、唐戸銀天街(カラトピアそば)「日の光」詩碑前にて、献花式を開催しました。

お天気に恵まれ、花冷えも緩み、市民約80人の方々が見守る中、献花に先立ち、ママプラスバンド「いしんぴよびよ隊」のみなさんによる、「私と小鳥と鈴と」などの演奏で盛り上げて頂き、ご参加頂いた皆さまと「日の光」を斉唱しました。そしてその後、菜の花を詩碑前に供えて手を合わせて頂きました。

みすゞは、唐戸に来てから、512編の詩を作りました。生まれは長門市ですが、唐戸は、詩人・金子みすゞ誕生の地です。

みすゞの詩を通して、ここ唐戸が、創作意欲をかき立てる、素晴らしい街だということ、中東まちづくり協議会のお力添えを頂きながら、もっともっとたくさんの方に認知して頂けるよう、尽力していきたいです。



## からまちイベント

## 「からとスタンプラリー」

寺尾 文彦

皆さん「からと」と聞いて何を連想されますか？ 亀山八幡宮、旧下関英国領事館、唐戸商店街、唐戸魚市場、お祭り、土曜夜市、潮の香り…等々、人それぞれいろいろな事を想像されたと思います。そう！唐戸には、いろいろな良い所が、たくさんあるのです。そして想像していたのには、皆さんの思い出がたくさん詰まっているからです。今回、からまち青年部の梶原宗寛さんの発案で大人達には再び思い出を感じてもらったり、子ども達には唐戸の思い出づくりと、ふるさとづくりのコンセ

プトを元に令和6年3月10日(日)にからとスタンプラリーとダンスや歌のイベントが開催されました。当日、「金子みすゞさん献花式」「しもまちマルシェ」のイベントもあり、約1,000人の方々が集まりました。久々の唐戸の活気、交流に、思い出づくり、こころづくり、まちづくりになった一日でした。これも皆さまの御協力、御参加のおかげです。本当にありがとうございました。また、次、考えますね。お楽しみに。

## このまちにこの人 NO.11

## 「からまち!!」

代表理事 寺尾 文彦

クイズです。「からまち」さて、何でしょう？…それは、この中東地区内の唐戸にあるからとまちづくりクラブの略称「(一社)からまち」です。令和4年5月に発足し唐戸をこよなく愛する法人であります。唐戸はとても魅力がある街です。でも何か足りないよね…、なくなったよね…の言葉を胸に、その何かを探したり、復活させたりして唐戸の魅力を、下関は勿論の事、日本に、いや世界に発信していこうと志を持っています。唐戸の魅力の根本には人の良

さがあります。この人の良さを大事にしながら、先代の唐戸を大切に守りながら次世代につなげ、心と人と街をつなぐ事を考えております。そして、いろいろなイベントや活動には誰もが楽しめる、交流できる事を考えて、からまち青年部が企画や運営に日々頑張っております。誰でも是非、参加して下さいね。皆様の人の良さ、参加が、この唐戸を潤してくれ大きく育てられます。皆様、何卒宜しくお願い致します。

## からと子ども食堂「<sup>えん</sup>縁」活動報告

からと子ども食堂「縁」がスタートしてから2年半となりました。人見知りの私はうまくやっていたか不安でしたが、気さくなスタッフさん達で案ずることはありませんでした。

楽しく参加させてもらっています。

スタッフさんの退会等で3班が2班になったり、代表者の交代、役割分担と少しずつ変わりがらうしたら、利用者の皆様に喜んでいただけるかとスタッフ一同試行錯誤しながら前に進んでいます。厨房の前をおいしそうな匂いといいながら入る人、「おいしかった」「ごちそうさま」の満足そうな表情の利用者様を見るとみんなと一緒にひとつのことをやる共同作業に参加でき、スタッフとして頑張ってきたなと思います。

立脇雅子



開催日時：毎月第2木曜日 16時～18時(食事提供17時～)  
開催場所：教法寺(赤間町)  
参加費：中学生以下 無料・高校生以上 300円  
申込先：中東地区まちづくり協議会事務局  
電話・FAX：083-250-8380(月・水・金 9:00～14:00)